

式と計算の順じょ

4まい目 あらわす | 式と言葉で表現する

1 2 3 4 めやす 15分

1 りくさんは、 $12+8\times 3$ を計算しています。

りく 式は左から順に計算するから、 $12+8=20$ で、 $20\times 3=60$ だよ。

(1) りくさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

ア +と×がまじった式では、×を先に計算するから

イ +と×がまじった式では、()をつけてから計算するから

ウ $12+8\times 3$ は、 $12\times 8+3$ として計算するから

答え

(2) $12+8\times 3$ の正しい答えを、「計算の順じょ」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

計算の順じょ

(3) $15-6\div 3$ (4) $60\div (4+2)$

2 式のよみ方を考えます。①にあてはまる数を書きましょう。

$(80+20)\times 5$ という式は、80円と20円を合わせた1人分を①人分買ったときの代金を表しています。

①

式と計算の順じょ

4まい目 あらわす

式と言葉で表現する

答え

1

2

3

4

めやす 15分

1 りくさんは、 $12+8\times 3$ を計算しています。りく 式は左から順に計算するから、 $12+8=20$ で、 $20\times 3=60$ だよ。

(1) りくさんの答えはまちがっています。理由をア～ウから1つ選びましょう。

(ア) $+$ と $\times$ がまじった式では、 $\times$ を先に計算するからイ $+$ と $\times$ がまじった式では、()をつけてから計算するからウ $12+8\times 3$ は、 $12\times 8+3$ として計算するから

答え ア

(2) $12+8\times 3$ の正しい答えを、「計算の順じょ」ということばを使って説明しましょう。

つかうことば

計算の順じょ

計算の順じょでは、 $+$ と $\times$ がまじった式は $\times$ を先に計算する。だから $8\times 3=24$ を先に計算して、 $12+24=36$ になる。

(3) $15-6\div 3$

13

(4) $60\div (4+2)$

10

2 式のよみ方を考えます。①にあてはまる数を書きましょう。

$(80+20)\times 5$ という式は、80円と20円を合わせた1人分を①人分買ったときの代金を表しています。

① 5

考え方

大問1 () がなければ $\times$ が先。 $8\times 3=24$ を先に計算して $12+24=36$ です。大問2 () の中の $80+20=100$ が1人分。それを5人分なので $\times 5$ と読みます。